

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	ふじさわ宿交流館、藤澤浮世絵館の運営管理 ふじさわ宿交流館指定管理者である公益社団法人藤沢市観光協会による事業の実施 藤澤浮世絵館における事業の実施 展示会8回、来館者数27,535人 藤澤浮世絵館運営委員会の実施(2回) 開館1周年記念展示、関連事業の実施						
	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
成果目標	ふじさわ宿交流館の来館者数	人			25,000	26,000	
	藤澤浮世絵館の来館者数	人			10,000	20,000	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	ふじさわ宿交流館開館日数	日			285	308	
藤澤浮世絵館開館日数	日			206	286		
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	ふじさわ宿交流館の来館者数	人			42,948	32,550	
藤澤浮世絵館の来館者数	人			32,920	27,535		
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	76,481	379,574	131,406	132,565
	(1)現金を伴う支出 (千円)	74,419	374,345	125,360	126,264
	事業費(支出済額-②報酬合計)	56,410	337,698	82,077	80,596
	償還金利息	0	37	105	122
	人件費合計(①+②+③)	18,009	36,610	43,178	45,546
	職員数(常勤 非常勤)	1.90 0.00	4.05 0.00	3.80 4.00	3.80 4.00
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219
	①職員給与合計(常勤)	16,872	34,809	32,568	35,032
	②報酬合計(非常勤)	0	0	8,813	8,813
	③退職金相当額	1,137	1,801	1,797	1,701
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,062	5,229	6,046	6,301
	①減価償却費	0	0	7,004	5,570
	②退職給与引当金繰入額	2,062	5,229	-958	731
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
収入	行政収益(事業収入) B	3,329	78,233	1,261	1,331
	(3)現金を伴う収入 (千円)	3,329	78,233	1,261	1,331
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0
	③国庫支出金	3,329	45,800	0	0
	④県支出金	0	27,433	0	0
	⑤その他(H27繰越金・H28・29雑入)	0	5,000	1,261	1,331
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用)A-B E	73,152	301,341	130,145	131,234	
分析指標	項目	ふじさわ宿交流館及び藤澤浮世絵館の来館者数 F	単位	単位	単位
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	0.00	0.00	1,732.03	2,206.29
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	174.88	418,308	716.42	420,619
	受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	藤澤浮世絵館の周知について、引き続き効果的なPR方法を検討する必要がある。 ふじさわ宿交流館多目的ホール実施事業を土日に実施していることについて、会議室利用やウォーキングイベント等と共存できる方法を検討する必要がある。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	ホームページやSNSでの情報発信の頻度を上げることにより、フォロー数が増加した。 チラシ配架場所の増設した結果、遠方から来館される人もいた。 ふじさわ宿交流館多目的ホール事業を一部平日に実施し、土日一般利用の促進をした。
(3) 平成29年度の課題	藤澤浮世絵館においては、来館者数の増加を目指すため、より多くの市民及び、市内在住の外国人に向けてPRを強化する必要がある。 ふじさわ宿交流館においては、指定管理者第三者評価で多くの意見のあった地域と連携した取組を行う必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	藤澤浮世絵館においては、市内での浮世絵パネル巡回展や案内作成を行う。 ふじさわ宿交流館においては、指定管理者とともに、地域の市民活動団体等と連携して、地域のにぎわいの創出に向けた事業展開について取組んでいく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成29年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		6. 市民等サービス(その他)	藤沢市の歴史・文化を市民をはじめ、多くの来街者に伝えるもの。

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>歴史散策や健康志向の高まりなどから、旧東海道を歩きながら史跡めぐりを目的に藤沢を訪れる方が多くなっている。そのような状況の中、史跡等の案内誘導サインの整備やふじさわ宿交流館の開館により、休憩所や交流の場としての利便性も向上した。さらに、藤澤浮世絵館では、これまでに収集してきた江の島や旧東海道藤沢宿等に関する浮世絵や、郷土歴史に関する資料を会期ごとに様々なテーマで展示公開しており、市民が文化資産に触れる機会が拡充した。</p>	
他市等の事例	<p>茅ヶ崎市では、公共施設整備・再編計画に基づき（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館の整備を行っており、平成33年に開館予定である。</p>	
市民ニーズ	把握方法	<p>藤澤浮世絵館・ふじさわ宿交流館ともに、来館者アンケート及び事業実施時のアンケートによるニーズの把握や、藤澤浮世絵館運営委員会においての意見交換による把握。</p>
	把握内容	<p>来館回数、来館のきっかけ、展示内容の感想等、居住地（市内外）、年代などの項目について回答されたもの及び自由記載の内容。</p>
	対応等	<p>改善が必要な事項については、周知の方法を工夫したり、接遇に気をつけるなど館内で共通認識を図っている。</p>

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>ふじさわ宿交流館及び藤澤浮世絵館において、市の保有する文化財や地域の文化資産に市民が触れられる環境が拡充した。 藤澤浮世絵館においては、開館1周年記念として、有名絵師に描かれた江の島の風景を中心とした「江の島と名品浮世絵展」を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、藤沢の歴史・文化の発信に寄与した。</p>	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	拡 大
	<p>東京2020大会に向け、引き続き藤沢の歴史や文化の発信に努め、市民の文化向上に寄与することができるよう努める。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
43	浮世絵館運営委員会に関すること	無	無	3	1
44	浮世絵館展覧会の企画運営に関すること	無	無	3	1
45	浮世絵館ワークショップ、講演会等の企画運営に関すること	無	無	3	1
46	浮世絵館グッズの企画販売に関すること	無	無	1	1
47	浮世絵館の施設の管理に関すること	無	無	1	1
48	ふじさわ宿交流館指定管理者との連絡調整に関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	秋山 曜	確認日	2018/6/1
----	-------	----	------	-----	----------